

ニンニクの栽培について

ニンニクは、滋養強壮や疲労回復効果の効果があるとされています。また、栽培も比較的容易であり病害虫の発生も少ない作物となります。

栽培カレンダー

月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
管理 作業	植え付け	→				追肥	→	摘蕾	→	収穫



1. 畑の準備

植え付け2週間前まで苦土石灰を1㎡当たり100gまき、深さ30cmくらいまでよく耕しておく。植え付け1週間前に、1㎡当たり堆肥3kgと化成肥料150gをまいて土とよく混ぜておく。

● 株間：15cm ● 条間：15cm～20cm



2. 植え付け

ニンニクは、鱗茎が何片かに分かれているので、皮をむいてバラバラにする。植え穴を掘り、一つの穴に1片ずつ植えつける。鱗片の先が畝の上面から5～6cmほどの深さになるように覆土する。



3. 芽かき・摘蕾・追肥

ニンニクは、分球して芽が2本以上伸びる場合があります。そのまま栽培すると球が大きくならないのでわき目が出たら摘み取ります。

トウ立ちして花蕾が伸び始めたら、早めに摘み取ります。

2月中旬～3月中旬を目安に1㎡当たり50g追肥しましょう。



分球し、芽が2本伸びた株があれば、1本取り除きます。残す球の根元を押さえてかき取ります。



春になり、とう立ちして葉の先端より長く伸びたら、つぼみを早めに摘み取ります。



4. 収穫

晴天が数日続いて茎や葉が2／3くらい枯れてきたら、根元を持って引き抜く。抜き取ったニンニクは、葉と根を切りとって日陰で2～3日乾燥させる。

保存は、芽が出始める前にスライスして生のまま冷凍すると長く使用できます。



ニンニク

私がご紹介
します！



東部営農センター
深谷 博晃
(営農指導担当)

